

## 平成 30 年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力 ラロトンガ島資源再生センターの改修計画の署名式典

2019年2月25日、平成30年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力「ラロトンガ島資源再生センターの改修計画」の署名式がラロトンガ島で行われ、当館の有吉勝秀公使及びダイアン・チャーリー＝プナ「インフラ・クック諸島」担当省次官が贈与契約書に署名を行いました。

本計画によって、日本は、同資源再生センターへの約17.8万NZドルの支援を通じて、廃棄物処理作業場にコンクリート打設を行うとともに、グリース阻集器及び排水管を敷設し、さらに、ガラス粉碎機を設置することによって安全かつ効率的な廃棄物処理作業が可能となります。同署名式には、ショート同省水・廃棄物・衛生(WATSAN)担当局部長ら約30名が同席し、チャーリー＝プナ次官からは、資源再生センターの改修計画によって、長い間の懸案事項であった廃棄物処理作業に改善をもたらすことは確実であり、日本政府及び国民に深く感謝する旨の言葉がありました。



贈与契約の署名：有吉公使（左）、チャーリー・プナ次官（右）



有吉公使のスピーチ

贈与契約書の交換